

令和元年度 防災訓練、各種会議等の事業報告

1 青葉区危機管理関係5機関会議

- 事業概要
災害時の連携課題及び各機関からの情報共有、合同訓練等について意見交換を実施しました。
- 日時
第1回 平成31年4月23日(火) 14時00分～15時30分
第2回 令和元年11月19日(火) 10時30分～12時00分
- 場所
青葉区役所4階 特別会議室
- 出席者
青葉消防署、青葉警察署、青葉土木事務所、青葉水道事務所、青葉区役所

2 青葉区災害対策連絡協議会常任協議会

- 事業概要
平成30年度の災害対応及び事業報告、令和元年度青葉区災害対策取組方針について説明し、ご意見をいただいたほか、防災・減災対策等についての情報共有を図りました。
- 日時
令和元年5月27日(月) 10時30分～11時30分
- 場所
区役所4階401～403会議室
- 出席者
青葉区災害対策連絡協議会常任委員

3 地域防災拠点運営委員会連絡協議会

- 事業概要
地域防災拠点相互の緊密な連携を図るため、地域防災拠点の運営に関する情報共有及び研修会を実施しました。
- 日時
令和元年6月18日(火) 14時00分～16時00分
- 場所
青葉公会堂 講堂
- 出席者
各地域防災拠点運営委員会委員長及び委員、地域防災拠点学校関係者、青葉区防災参与、青葉消防署長、青葉消防団長

4 横浜防災ライセンス青葉連絡会

- 事業概要
横浜防災ライセンス資機材取扱リーダー講習会修了者の任意の会員で構成され、地域防災拠点運営委員会との連携強化、資機材取扱技術の向上を図ることから、地域防災拠点訓練への参加及び研修会を実施しました。
- 総会
令和元年5月19日(日) 10時00分～11時30分 区役所4階401～403会議室

(3) 地域防災拠点訓練

地域防災拠点運営委員長からの要請により、各拠点訓練に参加

(4) 研修会等

ア 生活資機材取扱い研修

令和元年8月3日(土) 参加者 75名(地域防災拠点運営委員含む。)

内容：災害時下水直結式仮設トイレ(ハマッコトイレ)及び灯油式かまど(まかないくん)の取扱い

イ スキルアップ研修

令和2年2月28日(金)、29日(土)実施予定でしたが、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から中止

5 青葉区災害医療連絡会議

横浜市防災計画に基づき設置されたもので、災害時医療に関する意見交換や情報共有を図り、災害時には医療機関の被災状況や診察状況等の情報を相互共有することを目的として、令和2年3月23日(月)に実施予定でしたが、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から中止

6 青葉区防災計画に基づく事業

(1) 青葉区版防災情報伝達システムの運用訓練について

緊急性が高い場合に災害情報を自治会・町内会、地域防災拠点、防災関係機関等に伝達する、区独自のシステムを平成28年9月1日から運用開始しており、本システムの訓練を実施しました。

ア 情報伝達システム説明会

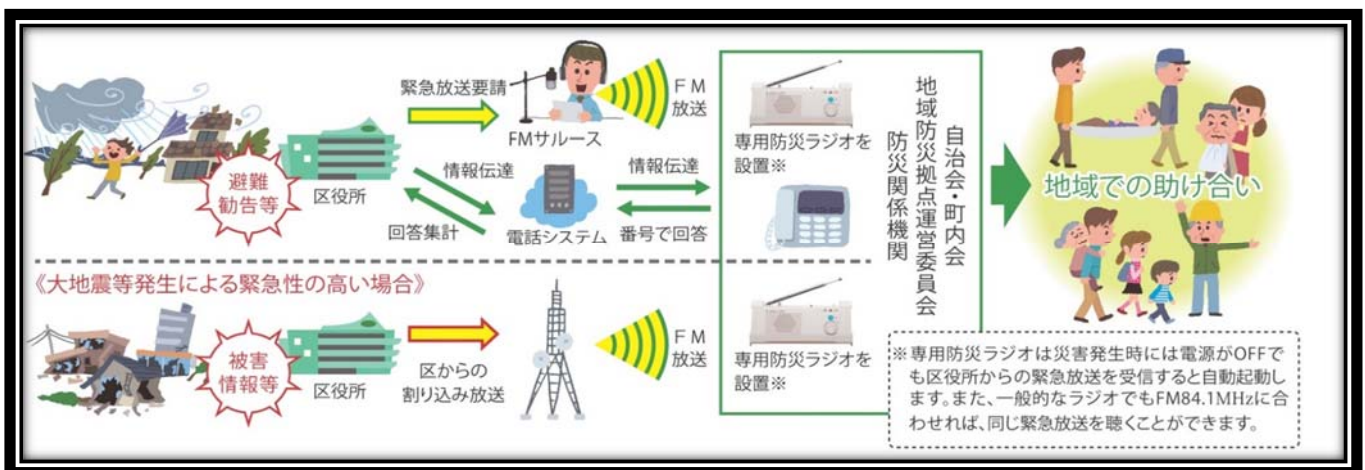
令和元年6月29日(土)参加者 34名

内容：青葉区版防災情報伝達システムの概要、専用防災ラジオの取扱方法及び電話システムの操作方法

イ 運用訓練

- ・令和元年7月3日(水)、令和元年9月1日(日)、令和2年1月17日(金)、令和2年3月11日(水)の計4回実施

〈システムイメージ図〉



(2) 地域防災拠点

ア 地域防災拠点訓練

震災時避難場所である地域防災拠点では、発災時対応訓練として地域防災拠点運営委員会を主体に、41ある地域防災拠点(都筑区荏田小学校地域防災拠点を含む。)で訓練を実施し、防災意識や地域防災力の向上を図りました。

- (ア) 参加者 38 拠点 延べ 9,466 名（地域住民、関係者）
※新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、3 拠点（あざみ野第一小学校、みたけ台中学校、谷本小学校）については中止
- (イ) 訓練期間 令和元年 6 月～令和 2 年 2 月
- (ウ) 訓練内容 避難所開設訓練、避難者受入訓練、情報受伝達訓練、備蓄資機材取扱訓練、初期消火訓練、応急救護訓練、応急給水・給食訓練、防災講話、要援護者対策 など

イ 環境整備

各地域防災拠点の備蓄庫には、屋内照明がほぼ設置されていないため、夜間発災時の作業等に支障をきたさないよう、各備蓄庫内に LED ライト（5 基）を設置しました。

(3) 地域向け防災講座

洪水浸水想定区域等の自治会・町内会、地域住民の方を対象とした防災講座を実施し、居住地域の情報や災害に備えるための行動等を学んでいただき、自助意識の向上を図りました。

ア 日時及び場所

- 令和元年 8 月 24 日（土）田奈小学校
8 月 25 日（日）鉄小学校
11 月 30 日（土）谷本小学校
12 月 8 日（日）奈良の丘小学校

イ 参加人数

- 合計 78 名
（内訳：8 月 24 日（土）12 名、8 月 25 日（日）25 名、11 月 30 日（土）20 名、12 月 8 日（日）21 名）

(4) 災害時の医療体制

ア 定点診療拠点訓練

青葉区防災計画では、震度 6 弱以上の地震が観測された場合、医療関係機関（青葉区四師会等）の協力を得て「定点診療」を行うこととしていることから、地域防災拠点訓練において「定点診療」訓練を実施しました。

(ア) 訓練日等

- ・令和元年 9 月 22 日（日）田奈小学校地域防災拠点
- ・令和元年 9 月 29 日（日）、1 月 26 日（日）嶮山小学校地域防災拠点
- ・令和元年 11 月 9 日（土）鴨志田緑小学校地域防災拠点
- ・令和元年 11 月 24 日（日）奈良小学校地域防災拠点

(イ) 訓練参加者

地域防災拠点関係者、地域住民、青葉区医師会、青葉区歯科医師会、青葉区薬剤師会、青葉区柔道整復師会、横浜市アマチュア無線非常通信協力会青葉支部 など

イ 青葉区災害医療関係機関合同通信訓練

発災時を想定した医療機関と区災害対策本部医療調整班の通信訓練を実施しました。広域災害救急医療情報システム（EMIS）の入力訓練も合わせて実施しました。

(ア) 訓練日等

令和元年 8 月 22 日（木）、10 月 11 日（金）、12 月 13 日（金）

(イ) 訓練参加者

昭和大学藤が丘病院、横浜総合病院、新都市脳神経外科病院、緑協和病院、江田記念病院、たちばな台病院、青葉さわい病院、市が尾病院

(5) 災害時要援護者対策

ア 支えあいカードの広報普及（ダイレクトメールの送付）

新規に要援護者となられた方に、支えあいカードを勧誘するダイレクトメールを送付し、登録者の増加を促進することができました。（令和2年3月31日時点 計3,039名）

イ 支えあいカード登録者へのカード更新訪問

民生委員や自治会・町内会等が、支えあいカード登録者宅を訪問し、登録内容の更新やあんしん情報ボトルの配布を行いました。

(6) 福祉避難所開設及び運営訓練

福祉施設（横浜あおぼの里）職員と区本部援護班合同で、福祉避難所の開設要請から運営までの流れを同施設で実施しました。

ア 訓練日等

令和元年11月10日（日）

イ 場所

横浜あおぼの里（鉄町）

ウ 訓練参加者

横浜あおぼの里職員、青葉区役所（高齢・障害支援課、総務課）

(7) 災害時のペット対策

災害発生時のペット対策について、あらゆる機会を通じて啓発を実施するとともに、地域防災拠点向けに、勉強会等を開催しました。一部の拠点では地域防災拠点運営委員会で、ペトルール化の検討会を立ち上げる等ペット対策の取組を実施しました。

開催した防災拠点（12拠点）

- ・桂小学校、恩田小学校、鴨志田緑小学校、鴨志田第一小学校、藤が丘小学校、荏田西小学校、市ケ尾小学校、黒須田小学校、すすき野小学校、元石川小学校、山内中学校、山内小学校

(8) 横浜市アマチュア無線非常通信協力会青葉区支部

災害時の通信手段の担い手として、青葉区内で実施する様々な訓練や会議等に参加しました。

主な参加訓練等

- ・各地域防災拠点訓練
- ・青葉区医師会等との連携訓練
- ・災害拠点病院訓練
- ・区役所設置無線機運用 など

(9) 町の防災組織活動費補助金交付

町の防災組織が行う自主防災活動を支援するため、活動経費を助成し、地域防災力の向上を図りました。

ア 助成自治会数 139 自治会・町内会（1管理組合を含む。）

イ 助成金 1世帯当たり160円

ウ 活用例 防災資器材及び備蓄品の購入、訓練及び研修会の開催、広報印刷物の作成など

(10) 青葉区災害対策本部代替施設機能強化

大規模災害時に備え、青葉区災害対策本部の代替施設である市ケ尾中学校に太陽光発電設備を設置しました。令和2年度に、VPP構築事業を活用した蓄電池の整備を進め、非常用電源を確保する予定です。

(11) 青葉区災害対策本部の環境整備

ア 災害対策用調査

洪水時の区庁舎地下への浸水に備え、電源確保に必要な対策等を検討するための調査を行いました。

イ 風水害避難所対応物品の整備

風水害時に開設する避難所の対応物品を整備しました。

ウ スマートフォン端末の整備

大雨警報発令時や、大規模災害時の避難所運営などにおいて、電話やメールなどを活用して、速やかに情報収集や情報共有が出来るよう、スマートフォン端末を整備しました。

7 職員に対する防災研修

区民の生命、身体及び財産を災害から守るという最も重要な責務を遂行するため、職員に対して研修や訓練を実施し、知識及び判断力、行動力の向上を図りました。

(1) 転入職員・新採用職員向けガイダンス

ア 日程

平成31年4月12日(金)

イ 内容

職員としての危機管理の考え方や、災害に対しての危機管理意識を向上することを目的にガイダンスを行いました。

(2) 地域防災拠点動員者研修

ア 日程

・令和元年8月1日(木)

・令和元年8月2日(金)

イ 内容

地域防災拠点動員者の危機対応能力及び円滑な避難所運営の向上を目的として、避難所運営に必要な知識やデジタル移動無線のシステム取り扱い等について研修を行いました。

(参加人数 計75名)

(3) 青葉区災害対策本部運営訓練

ア 日時

令和元年8月30日(金) 13時30分～16時30分

イ 内容

災害対策本部の各班に具体的な状況を付与し、活動方針を決定する訓練を実施しました。情報は、複数の班の情報を合わせなければ、正確な活動方針が導けない内容とし、各班の連携も確認しました。

(ア) 参加人数 計78名

(イ) 訓練指導講師 桐蔭横浜大学 客員教授 佐藤 榮一 氏



(4) 防災週間訓練

緊急地震速報により大地震の発生を覚知した場合を想定した初動対応訓練を実施し、各職場で対応行動をとり、震災時の初動体制の強化と防災に対する意識の向上を図りました。

ア 日 時

令和2年1月21日（火） 8時30分～8時45分

イ 参加人数

区役所全職員

8 他機関との連携、協定

(1) 風水害情報受伝達訓練

風水害発生時に、各関係機関がスムーズに連携をとれるよう、無線を活用した情報受伝達訓練を実施しました。

ア 日 時

令和元年5月24日（金）

イ 参加機関

青葉警察署、青葉消防署、青葉土木事務所、青葉区役所

(2) テロ災害対応訓練

ラグビーワールドカップ 2019TM、東京 2020 オリンピック・パラリンピックを控え、関係機関が連携し、テロ災害への対応力強化を目的とした訓練を実施しました。

ア 日 時

令和元年9月3日（火）

イ 場所

青葉区役所

ウ 参加機関

青葉消防署、昭和大学藤が丘病院、神奈川県青葉警察署、青葉区役所

(3) 日本体育大学との連携訓練

台風19号接近に伴い中止

(4) 横浜コミュニティ放送株式会社と協力したアプリ運用

スマートフォンからFMサルースの放送を簡単に聴取でき、災害時には区役所及びFMサルースからPUSH通知を行うことができるスマートフォンアプリの運用を平成29年11月23日から開始しています。

(令和元年度の主な実績)

- ・令和元年9月8日 台風15号接近に伴う避難準備・高齢者等避難開始情報発令等
- ・令和元年10月12日 台風19号接近に伴う避難準備・高齢者等避難開始情報発令等